

大腸内視鏡検査説明書

検査目的

大腸を観察し、異常の有無や病気（炎症、潰瘍、ポリープ、腫瘍など）を診断して適切な治療方針を決定することです。

検査方法

大腸の中を空にする必要があります。検査の2-3日前より食物繊維の少ない食事を摂って下さい。検査前日は所定の食事制限をして下さい。22時に小さい方の下剤（ピコスルファート）をコップ1杯の水に溶かし飲んで下さい。検査当日は朝から食事をしないで下さい。飲水は可能です。高血圧、心臓病、抗けいれん薬などの中止できない薬を処方されている方は早朝に多めの水で服用して下さい。検査の4時間前より、2リットルの腸管洗浄剤を2時間かけて飲んで下さい。

検査は、左横向きに寝ていただき、肛門から内視鏡を挿入し、直腸から盲腸までの大腸全体を観察します。前処置（腸の洗浄）が十分でない場合は詳細な観察が難しくなります。検査時間には個人差がありますが概ね20分程度です。腹部の手術後などで腸が癒着している方や腸の長い方は苦痛を伴うことがあり検査時間も長くなります。

また、ポリープなどの病変を認めた場合、内視鏡的切除が可能な状態であれば、その場で切除します。ただし大きな病変やかたちの悪い病変は入院設備のある病院へ紹介させていただきます。

組織検査および抗血栓薬

生検した場合、0.09%に出血が合併すると報告されています。観察のみの内視鏡検査では抗血栓薬の休薬は不要ですが、抗血栓薬を内服したまま生検や内視鏡的切除をすると止血されにくくなったり、後に出血やすくなったりするため、処方医と相談の上、休薬可能であれば一定期間、内服を中止して下さい。その場合は血栓症リスクが上がります。また、偶発症の発生を少なくするために、生検後3日間、内視鏡的切除後10日間は、食事や飲酒、入浴、運動、旅行などに制限が必要となります。

鎮痛剤および鎮静剤

苦痛を緩和する目的で鎮痛剤や鎮静剤の注射を用います。その効果には個人差があります。眠気やふらつきが残ることがあり、検査後は終日、車、バイク、自転車の運転はしないで下さい。高齢の方はご家族の付き添いをお願いします。

偶発症

主な偶発症は、出血、粘膜裂創、穿孔、腸閉塞、虚血性腸炎、誤嚥、呼吸抑制、呼吸停止、低酸素血症、心肺停止、ショックなどです。偶発症は全体で0.011%に発生し、死亡率は0.0004%と報告されています。内視鏡的切除（ポリパクリ・粘膜切除）による偶発症の発生頻度は約1.5%と報告されています。偶発症の発生は完全に防止することはできません。稀ではありますが、死亡や重度の障害を残すこともあります。発生時には、救急病院を受診して頂き、輸血や外科的手術も含めた救命処置が必要となることもあります。

他の検査法

バリウムを肛門から注入してレントゲン撮影する方法（注腸造影検査）やカプセル内視鏡検査があります。

費用（あくまで概算です）

鎮静剤あり	1割負担	2500円	3割負担	6500円
鎮静剤なし	1割負担	2000円	3割負担	5500円
ポリープ切除	1割負担	7000~9000円	3割負担	20000~27000円

別途、検査時パンツ代150円、大腸検査食代1800円

納得でき、検査を受けることに同意いただければ、署名をお願いします。なお、同意を拒否されても、直前に同意を撤回されても、診療上の不利益を受けることはありません。

大腸内視鏡検査同意書

三輪内科おなかクリニック 殿

私は、大腸内視鏡検査の目的や内容、偶発症などについて十分に理解しましたので、その実施に承諾します。

緊急の処置を行う必要が生じた場合には、転院も含め適宜処置されることについても承諾します。

内視鏡検査に	同意します	同意しません
組織検査に	同意します	同意しません
鎮静剤・鎮痛剤使用に	同意します	同意しません
ポリープ切除に	同意します	同意しません

年 月 日

本人氏名 _____

代諾者氏名 _____